

放課後児童クラブ 土曜日開所正式決定！

～平成20年4月1日より～

さ
さ
ぐ
り
純
夫
通
信



Vol. 18

平成19年11月1日発行

ささぐり純夫後援会

福岡県前原市前原中央

1丁目5-28-905

TEL:092-322-9150

平成19年9月 定例議会報告

9月度定例議会において「前原市放課後児童クラブ条例」について賛成討論を行いました。平成20年4月1日より土曜日開所が正式決定となりました。以下議会で私が発言した内容を紹介いたします。

「前原市放課後児童クラブ条例」について、賛成討論をいたします。

私は、子育て奮闘中のお母さんから、土曜日開所や朝夕の時間延長の要望をお受けし、出来るだけ早い時期での実現を執行部に申し入れてまいりました。昨年の12月定例議会の一般質問でも取り上げ、執行部からは「土曜日開所のためには職員の問題、費用の問題など、まだまだ多くの課題を解決しなくてはならず、平成20年度から実施したい」との答弁をいただいております。まさに今回の条例案が、それを実現するものであります。

指定管理者制度導入の

目的として言われている「多様化する市民ニーズにより効果的・効率的に対応するため、公の施設の管理に民間のノウハウを活用しながら、市民サービスの向上と経費の節減を図ること」

まさに、「この目的を達成するための、指定管理者制度の導入であるのか」が重要と考えます。

以下、何点か本条例に賛同する意見を申し上げますが、結論と致しまして、「指定管理者制度導入の目的に合致する条例」である、と判断し賛成いたします。

1、サービスの向上と経費削減効果

一番目として、サービスの向上と経費削減が望めるという点であります。具体的に申し上げます。土曜日開所の実現および開所時間延長が可能となったことと、土曜日開所をすることにより、国県補助金が増額となり、本事業を運営する上でプラスとなること。

2、利用料金は据置き

二番目として、利用料金の据え置きという点であります。本条例の第17条の2項には「利用料金の額は、別表に定める金額の範囲内において、あ



前原南児童クラブの様子

らかじめ市長の承認を得て、指定管理者が定めるものとする」となっており、利用者負担増が安易にできない歯止めがかかっています。



本議案が可決されれば、指定管理者の選定に着手されると思います。今後の期待を披瀝（ひれき）します。

本条例の第4条、指定管理者が行う業務の一番目に「児童クラブを利用する児童に適切な遊び場及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る業務」が掲げられています。非常に重要な意味を持つていると思います。是非とも「健全な育成」に情熱を燃やし、未来からの使用者である子供たちが、健全に育つことが、糸島地域ひいては日本の将来を決定付けるといっても過言ではないでありましょ



私は、児童が喜んで児童クラブに集い・生活することにより、懸命に働いて育ててくれている親や保護者に対して、感謝の心が芽生える放課後児童クラブであって欲しいと念願します。



市も「放課後児童クラブは指定管理者に運営を任しているから」という姿勢であってはなりません。児童が発信するサインを見落とすことなく、いち早く受け止め、手を差し伸べる姿勢が大事ではないでしょうか。

そのために市は「指定管理者」として、現場で児童のお世話をしていただいている先生などと定期的に協議の場を設け、より良い学童保育ができるよう、しっかりと連携して取り組んで頂きたい。保護者の皆様から「指定管理者制度導入は正しい選択であった」と賞賛される日が来ることを心より期待し、賛成討論と致します。

「生命のメッセージ展」に足を運ばれた、お2人から感想(作文)を戴きました。原文のまま、ご紹介します。

今回初めて、パネル展を見学した。
そこには、同じ人間が行ったとは信じられないような残虐な行為により、奪われた命の叫びがあった。

無念があった。等身大の被害者の命の重みに身震いする思いだった。

自分の無力さ、無関心が、奪われた命に対して、何が出来るか-----そう問いながら歩いていた時、一筋の光に出会った。猿渡瞳さんだった。

命輝いた彼女の生き方が、命の証明だと思った。

今あることに感謝し、生かされている命を輝かせること。これが今ある私たちの使命と改めて思った。

(二人の児童を持つお母さん)



前原小6年生の皆さんの演奏

私は、10月7日に「生命のメッセージ展」に行きました。すると、私が知らない事件や、事故で亡くなっていった人達の遺品「靴」が置いてありました。

そのなかには、被害者は、何も悪くないのに、加害者が飲酒運転で、お酒を飲んで、運転している人から、ひき逃げされ、引いた子供より、自分がお酒をのんでいる事を、警察にばれないように、119番通報をしなくて、子供の命をむだにした人があることを知った。

私は、その紙にかいてある話を読んで「死にたくないのに、何で人を殺すのだろう。人の命より自分の命のほうが大切なのか、自分が殺されるのは、怖いのになぜ人を殺すのだろう」と思いました。

これを書いている途中も、書いているだけで涙がでてきます。

ほかに、私も、小さい子供や、小さい子どもたちのために、交通指導をしていた「黄色いハタのおじさん」も交通指導中に飲酒運転をしていたトラックに、はねられ亡くなっていました。

私は、生命のメッセージ展とニュースで30件近くの飲酒運転の事件を知りました。私は、もう犠牲者を出してはいけないと思います。なので、お酒を飲んだら飲んだ人に運転させないで、タクシーで帰らないといけないと思ったので、それを実行しようと思います。

もう一つは、大学の一年生をつぶすそうと、お酒をいっぱい飲ませ、別の場所に放置し、誰にも見守られず亡くなったという事件を、「生命のメッセージ展」で2件も見ました。なんで大学一年生をつぶさないといけないの。という気持ちでいっぱいになりました。

私が、「生命のメッセージ展」に行き一番感じた事は、命を大切にしないといけないという事です。理由は、病気で、猿渡瞳さんのように、ガンになっても「大切な仲間がいっぱい亡くなっていくけど、私は頑張る」と希望をもって生きていたからです。だから、生きたくても生きられない人だっているの、絶対に人を殺しては、いけないと思いました。

自分がされて嫌なことは、絶対に人にしないという、心掛けが大切だと思います。だから、これからは小さい命、虫でも大切にしようと思います。

(小学校5年生女の子)

「生命のメッセージ展 in 前原」に参加

福岡で
はじめて

10月6～8日 前原小学校で開催



体育館に飾られた折り鶴



「生命のメッセージ展」
代表の鈴木共子さんと

10月6日(土)午前9時から前原小体育館で「生命のメッセージ展 in 前原」(同実行委員会主催、前原市共催)が開幕。これは犯罪や事故・いじめなどで、理不尽に生命を奪われた犠牲者が主役のアート展。会場には市内9小学校4、6、00人が作った折り鶴や、犠牲者127人の等身大人型パネル、生きた証である靴、残された家族の言葉など、127名の方々の無念さと、生命の尊さを心底から感じる機会となりました。

開会式では前原小学校6年生児童120名によるリコーダ演奏や合唱、併せて児童代表による生命の尊さの語りに感動しました。

3日間の来場者は約4、

300名に達したそうです。実行委員の方々、前原市、前原市教育委員会、前原小PTAなど多くの皆様のご尽力の結果である心から敬意を表します。

今回鑑賞できなかった方、福岡市内で特別展示が開催されるようです。是非、足を運んでみてはいかがでしょうか。

生命のメッセージ展 公式サイト
<http://www.inochi-message.com>

『0(ゼロ)からの風』公式ウェブサイト
<http://www.zero-karano-kaze.com>

生命のメッセージ展 in まえばる
- 楽天ブログ (Blog)
<http://plaza.rakuten.co.jp/inmaebaru>

『生命のメッセージ展 特別展示』

開催場所 福岡市役所 (福岡市中央区天神1-8-1)
日程 2007年11月24日(土)、25日(日)
展示時間 10:00～17:00 (両日とも)

映画『0(ゼロ)からの風』(鈴木共子さんをモデルに製作)

公開場所 都久志会館 福岡市中央区天神4-8-10

日程 2007年12月15日(土)

開映時間 10:00～/13:00～/15:30～/18:00～

問合せ先 福岡中央ライオンズクラブ(092-771-5781)

～皆様からの声をお待ちしています～

今回紙面に掲載できなかった項目に関しては、私のホームページに詳しく掲載しています。

アドレスは <http://www.sasaguriumio.com>

また、皆様からのご要望、ご相談も随時受け付けております。

連絡先は092-322-9150 (FAX兼)。

いつでも、お気軽にご連絡ください。

